Form No. 3437-329 Rev A

TORO®

Count on it.

オペレーターズマニュアル

48", 52", 60" ブロア駆動キット

E-Z Vac™ スタンダードバガー搭載ゼロターン乗用芝刈り機用

モデル番号 78401—シリアル番号 400000000 以上
モデル番号 78402—シリアル番号 400000000 以上
モデル番号 78403—シリアル番号 400000000 以上
モデル番号 78404—シリアル番号 400000000 以上
モデル番号 78405—シリアル番号 400000000 以上
モデル番号 78406—シリアル番号 400000000 以上

製品の登録は www.Toro.com.
この文書は翻訳です。 (JA)

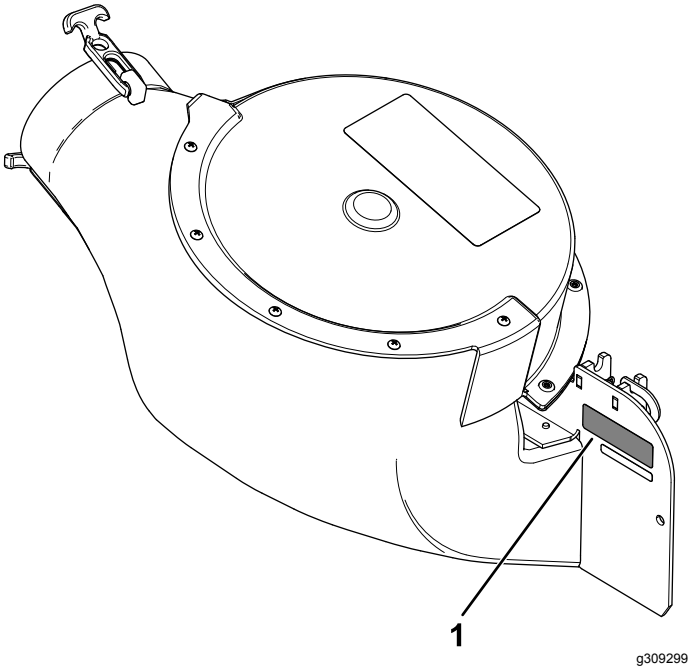
3437-329 A

はじめに

この説明書を読んで製品の運転方法や整備方法を十分に理解し、他人に迷惑の掛からない、適切で安全な方法でご使用ください。この製品を適切かつ安全に使用するのはお客様の責任です。

製品の安全や取り扱い講習、アクセサリなどに関する情報、代理店についての情報の入手、お買い上げ製品の登録などをネットで行っていただくことができますwww.Toro.com

整備について、また純正部品についてなど、分からないことはお気軽に弊社代理店またはカスタマーサービスにおたずねください。お問い合わせの際には、必ず製品のモデル番号とシリアル番号をお知らせください。図 1にモデル番号とシリアル番号を刻印した銘板の取り付け位置を示します。いまのうちに番号をメモしておきましょう。



g309299

図 1

1. ブロアの銘板取り付け位置

モデル番号 _____

シリアル番号 _____

この説明書では、危険についての注意を促すための警告記号図 2を使用しております。これらは死亡事故を含む重大な人身事故を防止するための注意ですから、必ずお守りください。



g000502

図 2

危険警告記号

この他に2つの言葉で注意を促しています。**重要** は製品の構造などについての注意点を、**注**はその他の注意点を表しています。

目次

安全について 3
安全ラベルと指示ラベル 3
組み立て 5
1 マシンの準備を行う 6
2 既存のベルトカバー、ブラケット、排出シュートを取り外す 6
3 ブロアプーリアセンブリとベルトカバーブラケットを取り付ける 7
4 バッフルを取り付ける 10
5 ブロアアセンブリを取り付ける 10
6 ブロアベルトとブロアベルトカバーを取り付ける 12

© 2020—The Toro® Company

8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

連絡先 www.Toro.com.
Printed in the USA

禁無断転載

安全について

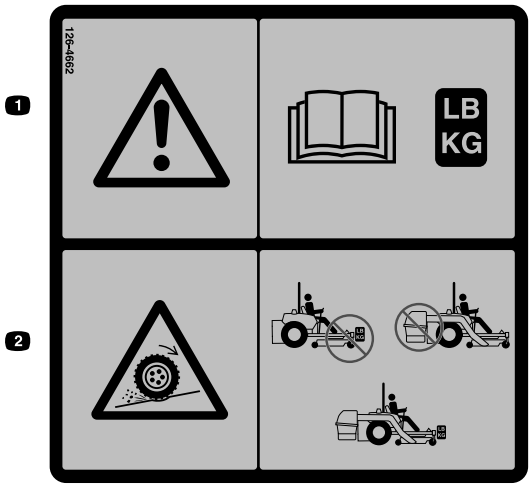
安全ラベルと指示ラベル

危険な部分の近くには、見やすい位置に安全ラベルや指示ラベルを貼付しています。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



decal133-8061

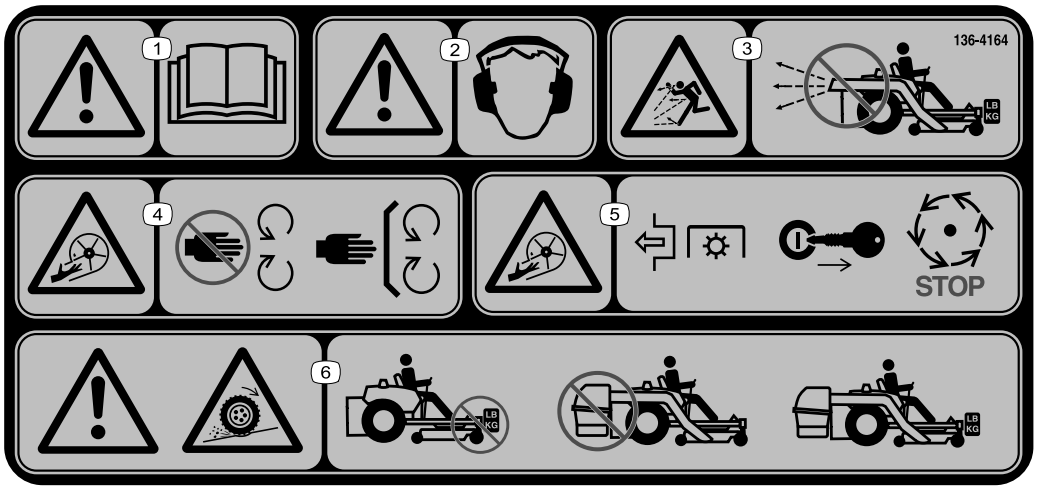
133-8061



decal126-4662

126-4662

1. 警告カウンタバランスの個数については、*オペレーターズマニュアル* を参照。
2. 走行不能、ハンドル操作不能、機体が不安定などの危険Ez Vac を取り付けていないのに、Ez Vac 用のカウンタバランスを外さないで運転すると運転が不安定になる危険が高い。Ez Vac を取り付けているのに、Ez Vac 用のカウンタバランスを取り付けないで運転すると運転が不安定になる危険が高い。Ez Vac を取り付けたらウェイトを取り付ける。Ez Vac を外したらウェイトも外すこと。



decal136-4164

136-4164

1. 警告 *オペレーターズマニュアル*を読むこと。
2. 警告 必ず聴覚保護具を着用すること。
3. 異物が飛び出す危険ブロア全体を確実に取り付け、ラッチを掛けて使用すること。
4. インペラによる切傷や手足の切断の危険可動部に近づかないこと 使用時にはすべての安全カバー類を正しく取り付けておくこと。
5. インペラによる手足や指の切断の危険PTOを解除し、キーを抜き取り、各部が完全に停止するまで待つこと。
6. 警告 走行できなくなる危険。カウンタバランスウェイトのみで運転しないこと。E-Z Vac のみを取り付けて状態で運転しないこと。必ず E-Z Vac とカウンタバランスウェイトの両方を取り付けて運転すること。

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	–	マシンの準備を行います。
2	必要なパーツはありません。	–	既存のベルトカバー、ブラケット、排出シュートを取り外します。
3	ブロアプーリアセンブリ ベルトカバーブラケット スピードナット キャリッジボルト¼ x ¾" ロックナット¼" ロックナット⅜" ブロアプーリ ロックナット¾" ワッシャ プーリマウント	1 1 1 2 2 3 1 1 1 1	ブロアプーリアセンブリを取り付けます。
4	バッフル キャリッジボルト5/16 x ⅞" フランジナット5/16" キャリッジボルト⅜ x ⅞" フランジナット⅜"	1 1 1 2 2	バッフルを取り付けます。
5	ブロアアセンブリ ブロアベルト ピボットピン ロールピン	1 1 1 1	ブロアアセンブリを取り付けます。
6	ブロアベルトカバー ノブ	1 1	ブロアベルトとブロアベルトカバーを取り付けます。

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

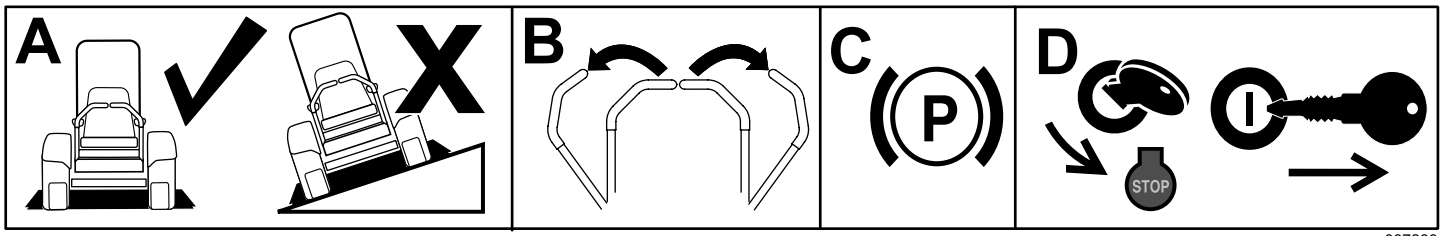
1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. 走行コントロールレバーをニュートラル固定位置以外の位置に動かす。
3. 駐車ブレーキを掛ける。
4. エンジンを止め、キーを抜き取る。



g037289

g037289

図 3

2

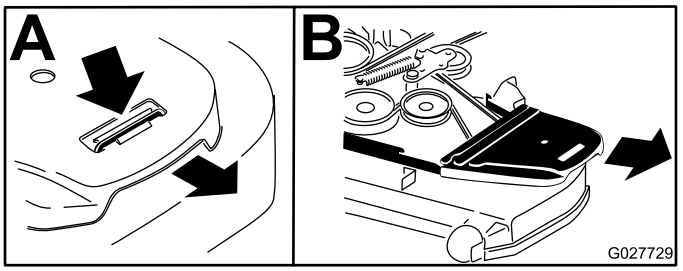
既存のベルトカバー、ブラケット、排出シュートを取り外す

必要なパーツはありません。

手順

注 ベルトを取り外す前に、周囲をきれいにしてしてください。

1. 刈り込みデッキを、一番低い刈高に降下させる。
2. 右側のベルトカバーを取り外す図 4。



g027729

図 4

3. 刈り込みデッキから、右ベルトカバーブラケット、**ワッシャ60" のデッキのみ2枚**、フランジナット2 個を取り外す図 5。

   注 ROPSを外したときの金具類は、再取り付けに便利なように、すべて保管してください。

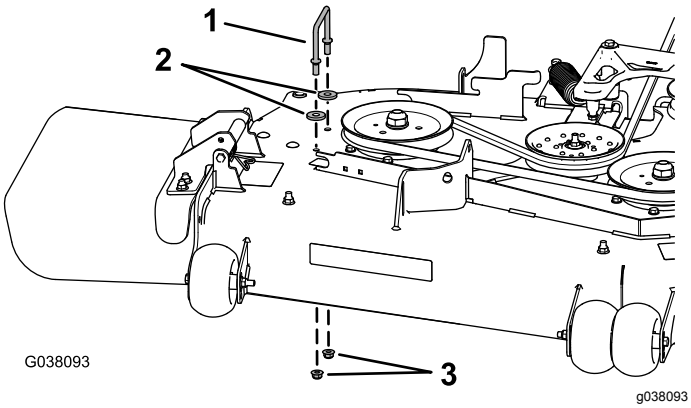


図 5

1. 右側ベルトカバーブラケット
2. ワッシャ152 cm デッキのみ
3. フランジナット

4. デフレクタをピボットブラケットに固定しているロックナット、ボルト、スプリング、スペーサを外す(図 6)。

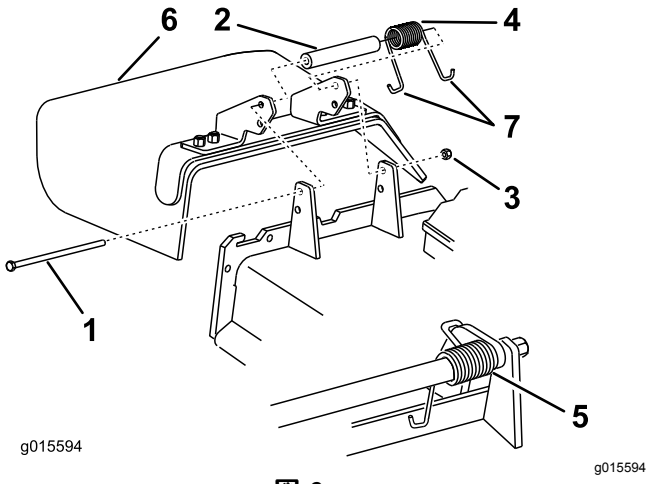


図 6

1. ボルト
2. スペーサ
3. ロックナット
4. スプリング
5. スプリングを取り付けた状態
6. デフレクタ
7. スプリングの J 字形フック

5. デフレクタを取り外す (図 6).

3

ブロアプーリアセンブリとベルトカバーブラケットを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ブロアプーリアセンブリ
1	ベルトカバーブラケット
1	スピードナット
2	キャリッジボルト¼ x ¾"
2	ロックナット¼"
3	ロックナット⅜"
1	ブロアプーリ
1	ロックナット¾"
1	ワッシャ
1	プーリマウント

手順

1. 刈り込み車両についているスプリング付きのアイドラプーリのスプリングの張力を解除する図 7または図 9を参照。

   注 モデル 78401、78402、および 78403 のブロアでは、スプリング取り外し工具 Toro P/N 92-5771を使ってスプリングをデッキ上の固定部から外します図 8。

   注 モデル 78404、78405、および 78406 のブロアでは、アイドラアームに四角いラチェットを差し込んで、スプリングのテンションをゆるめます図 9。

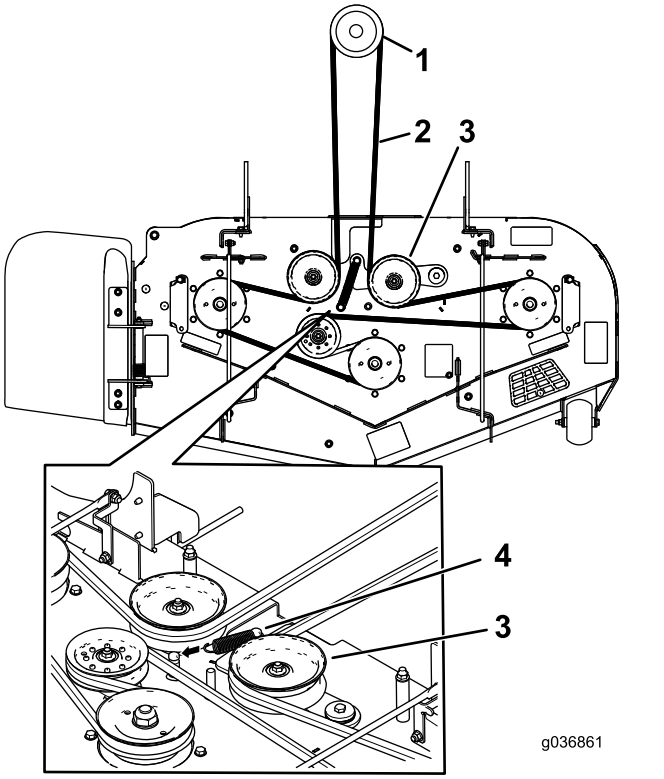


図 7

対称モデル 78401、78402、78403

1. クラッチプーリ
2. 刈り込みベルト
3. スプリング付きアイドラプーリ
4. スプリング

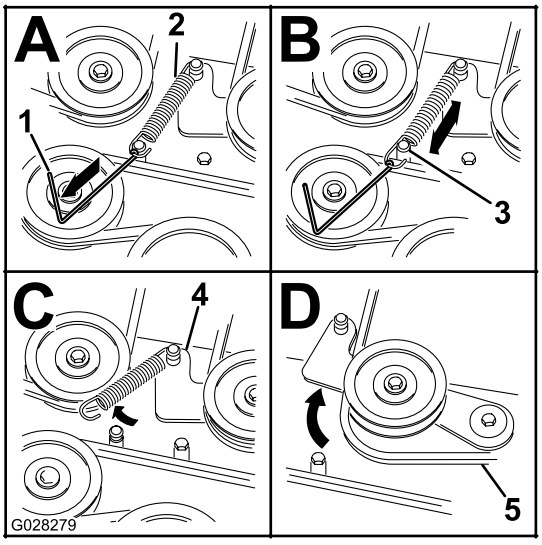


図 8

対称モデル 78401、78402、78403

1. スプリング取り外し工具 Toro P/N 92-5771
2. アイドラスプリング
3. デッキ上の取り付け部
4. アイドラアーム
5. 刈り込みベルト

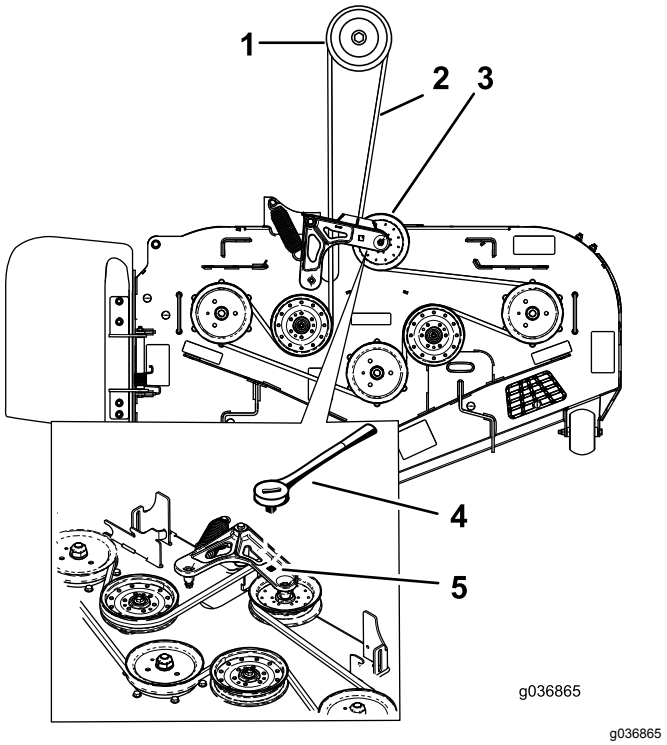


図 9

対称モデル 78404、78405、78406

1. クラッチプーリ
2. 刈り込みベルト
3. スプリング付きアイドラプーリ
4. ラチェット
5. アイドラアームの四角い穴 ラチェット用

2. 右側デッキのプーリからベルトを取り外す。
3. スパナ1½ インチでスピンドルシャフトを押えながら、ロックナット¾ インチとワッシャをスピンドルシャフトから外す図 10。

   注 モデル 78404、78405、および 78406 のブロアでは、ロックナット¾"とワッシャは使用しない。

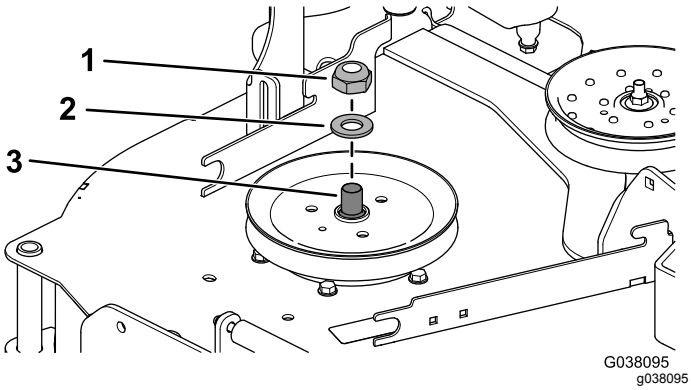


図 10

1. ロックナット¾"
2. ワッシャ
3. 右側スピンドルシャフト

4. スパナ1½ インチでスピンドルシャフトを押えながら、右側スピンドルシャフトにダブルプーリを取り付ける。
   - **モデル 78401、78402、および 78403 のブロア**では、以下の作業を行う
     A. ロックナット¾"とワッシャで、新しいダブルプーリを右側スピンドルシャフトに固定する図 11。
     B. ロックナット¾"を 176-217 N·m 13.8-15.2 kg.m = 130-160 ft-lbにトルク締めする。

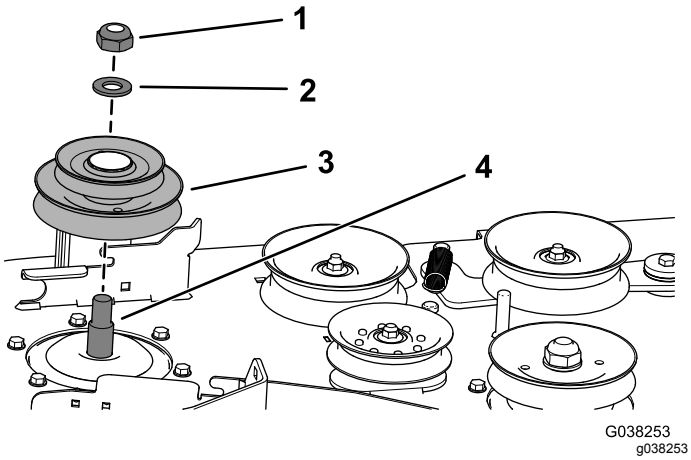


図 11

1. ロックナット¾"
2. ワッシャ
3. ダブルプーリ
4. 右側スピンドルシャフト

   - **モデル 78404、78405、および 78406 のブロア**では、以下の作業を行う
     A. プーリマウントのスタッドを、デッキプーリの穴に通す図 12。
     B. 先ほど外したロックナット¾"とワッシャで、デッキプーリをスピンドルシャフトに固定する図 12。
     C. ロックナット¾"を 176-217 N·m 13.8-15.2 kg.m = 130-160 ft-lbにトルク締めする。
     D. ねじ山付きのスタッドにブロアのプーリを取り付け、ロックナットで仮止めする図 12 。
     E. ブロアのプーリを右へ止まるまで回す。
     F. ロックナット3個を 18 N·m (1.8 kg.m = 13 ft-lbにトルク締めする。

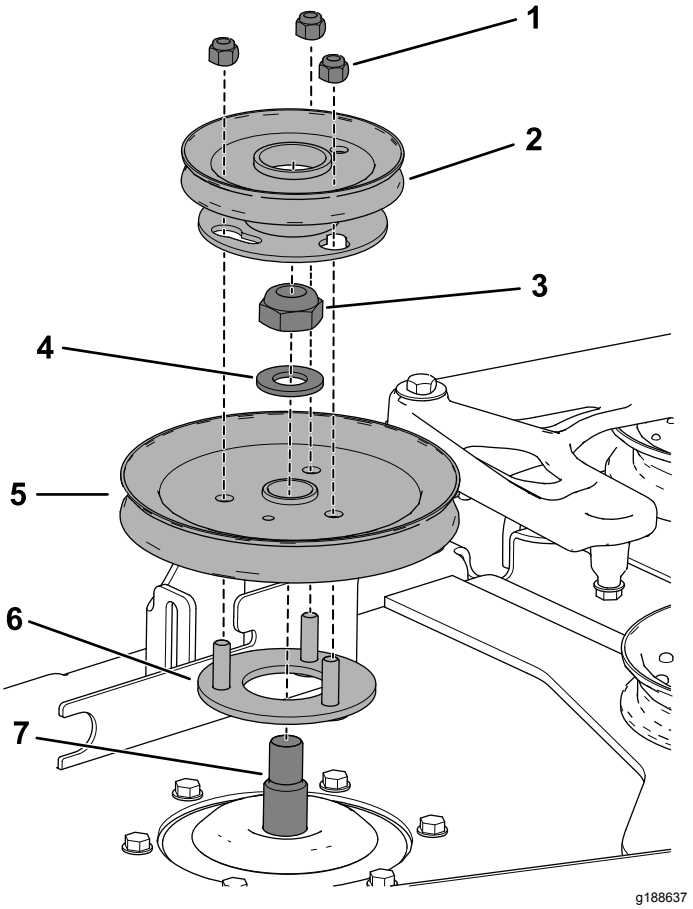


図 12

1. ロックナット⅜"
2. ブロアプーリ
3. ロックナット¾"
4. ワッシャ
5. 既存のデッキプーリ
6. プーリマウント
7. 右側スピンドルシャフト

5. 各ブレードボルトを 115-149 N·m11.8-15.2 kg.m = 85-110 ft-lbにトルク締めする。
6. ダブルプーリの下側のプーリに刈り込みベルトを掛け回す図 13。

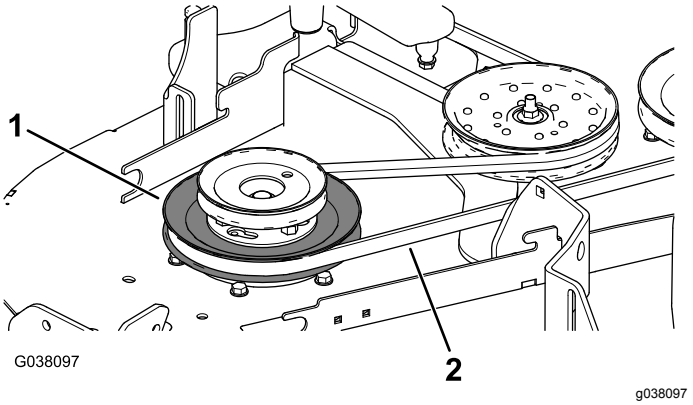


図 13

1. 下プーリ
2. 刈り込みベルト

7. デッキにベルトカバーブラケットを取り付けるキャリッジボルト¼ x ¾"2本とロックナット¼"2個を使用して図 14のように取り付ける。
8. ベルトカバーブラケットに、スピードナットを取り付ける図 14。

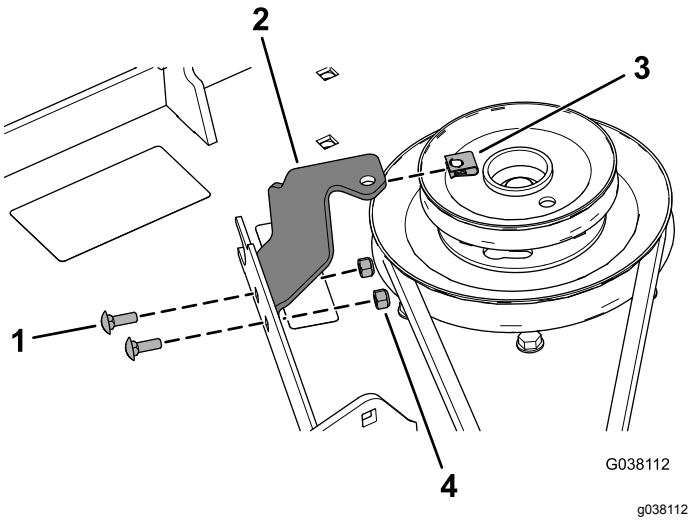


図 14

1. キャリッジボルト¼ x ¾"
2. ベルトカバーブラケット
3. スピードナット
4. ロックナット¼"

9. スプリング付きのアイドラプーリに刈り込みベルトを取り付ける図 7または図 9。
10. スプリング取り外し工具Toro P/N 92-5771を使って、スプリング付きアイドラアセンブリにスプリングを取り付ける。

4

バッフルを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	バッフル
1	キャリッジボルト5/16 x ⅞"
1	フランジナット5/16"
2	キャリッジボルト⅜ x ⅞"
2	フランジナット⅜"

手順

1. デッキから既存のフランジナット⅜"2個とキャリッジボルト3/8 x 7/82本を外す図 15。

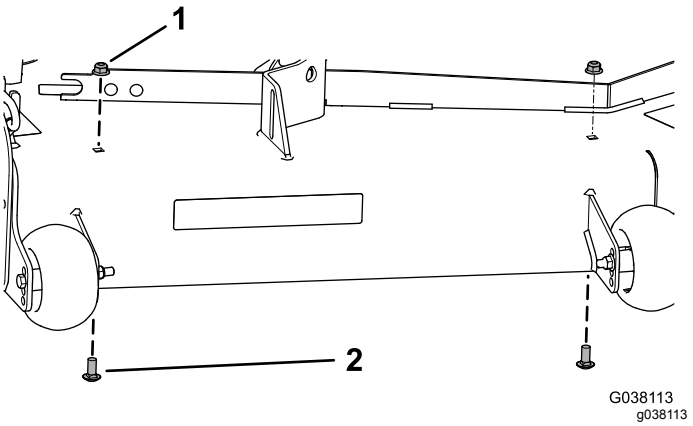


図 15

1. フランジナット⅜"
2. キャリッジボルト⅜ x ⅞"

2. 図 16のように、バッフルを取り付けるボルト5/16 x 7/8"、フランジナット5/16"、キャリッジボルト⅜ x ⅞"2本、フランジナット⅜"2個を使用する。

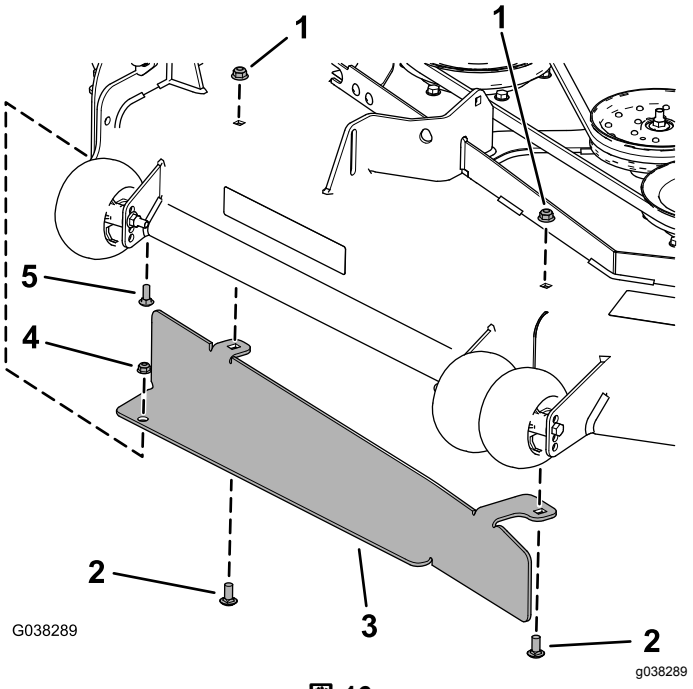


図 16

1. フランジナット⅜"
2. キャリッジボルト⅜ x ⅞"
3. バッフル
4. フランジナット5/16"
5. キャリッジボルト5/16 x ⅞"

5

ブロアアセンブリを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ブロアアセンブリ
1	ブロアベルト
1	ピボットピン
1	ロールピン

手順

ピボットピンがブロアアセンブリの所定位置に固定されていることを確認する図 17。

- 48" と 52" のデッキでは、ピボットピンを前側の穴に取り付ける図 17。
- 60" のデッキでは、ピボットピンを後側の穴に取り付ける図 17。

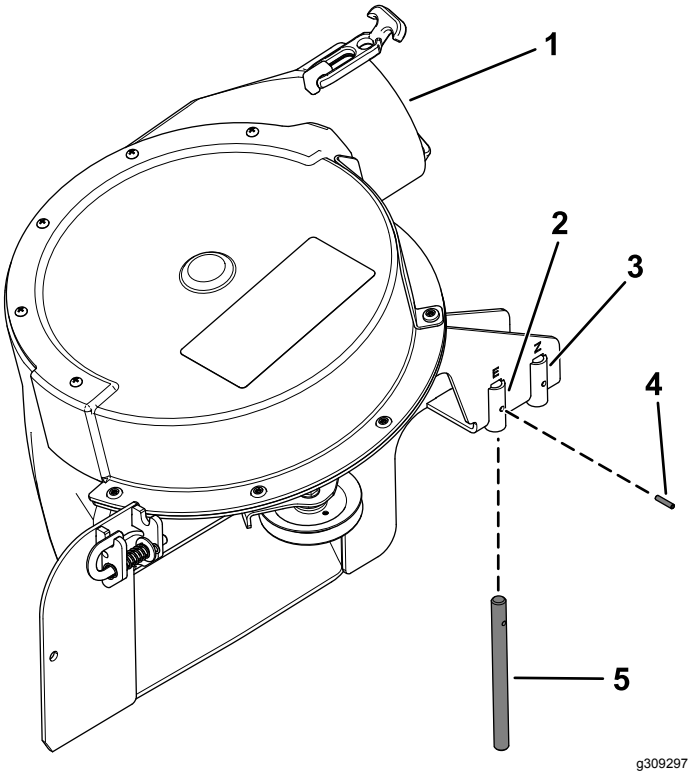


図 17

図は 48" および 52" デッキ用のブロア

1. ブロアアセンブリ
2. 前穴48インチと52インチのデッキの場合
3. 後穴60インチのデッキの場合
4. ピボットピン
5. ロールピン

1. ブロアのピボットピンを、刈り込みデッキのピボットピン穴に合わせる図 18。

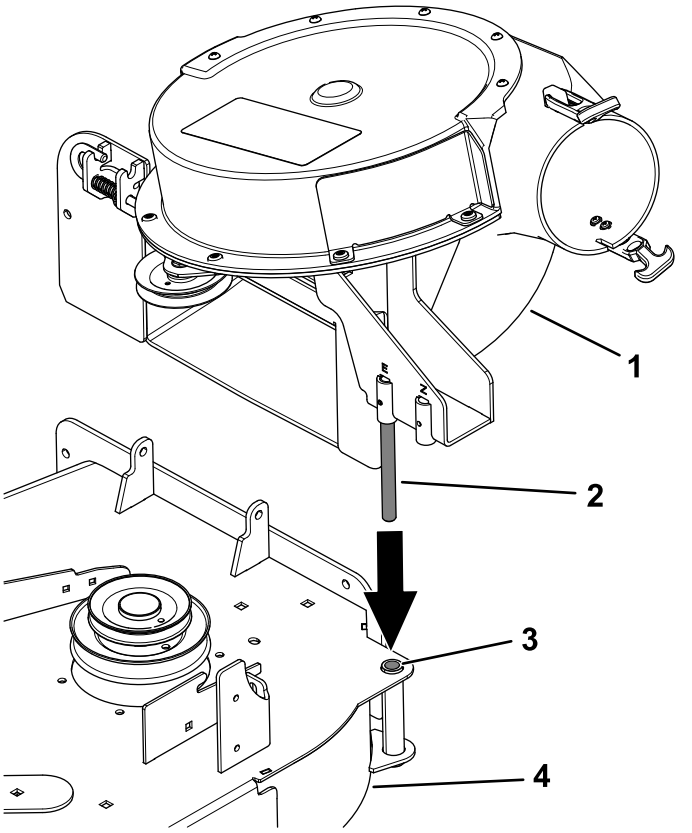


図 18

1. ブロアアセンブリ
2. ブロアのピボットピン
3. ピボット穴
4. デッキ

2. ブロア内部のプーリに、ベルトを掛ける図 19。

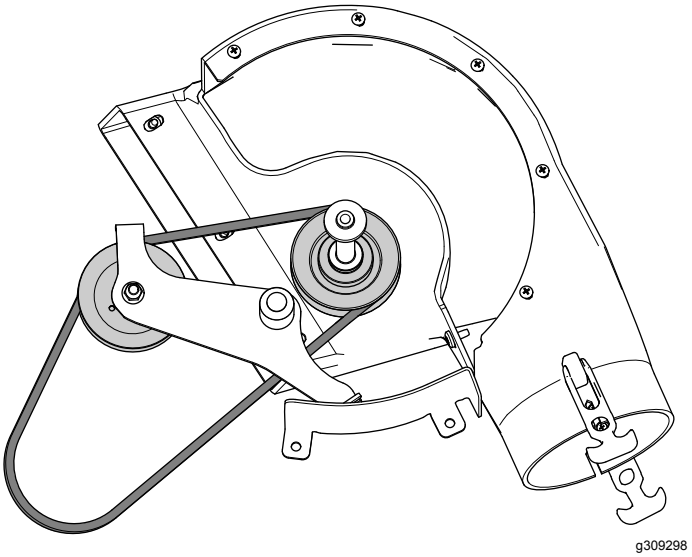
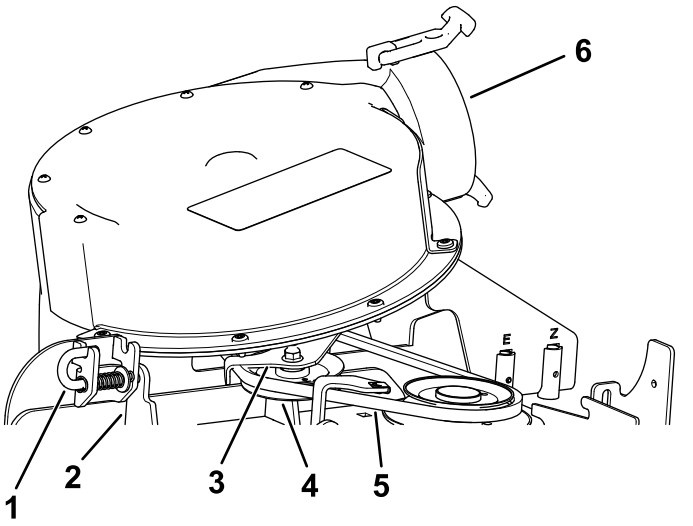


図 19

3. ブロアを降ろしてピボットピンを穴に通す図 18。

   注 ベルトがプーリからずれていないことを確認してください。

4. ラッチピンをロック位置から開放位置にする図 20。



g309296

図 20

1. ラッチピン
2. シュートブラケット
3. アイドラピボットブラケット
4. アイドラプーリ
5. ベルトアイドラプーリの下
6. ブロアアセンブリ

5. ブロアアセンブリを閉じて、ラッチピンをシュートブラケットの穴に合わせる図 20。
6. ラッチピンをロック位置にセットする。

   注 ラッチピンがシュートブラケットの穴に完全に嵌るようにきちんとセットしてください。

   注 ブロアアセンブリがラッチによって刈り込みデッキに確実に固定されているが、手でラッチを外すことは可能であることを確認してください。

6

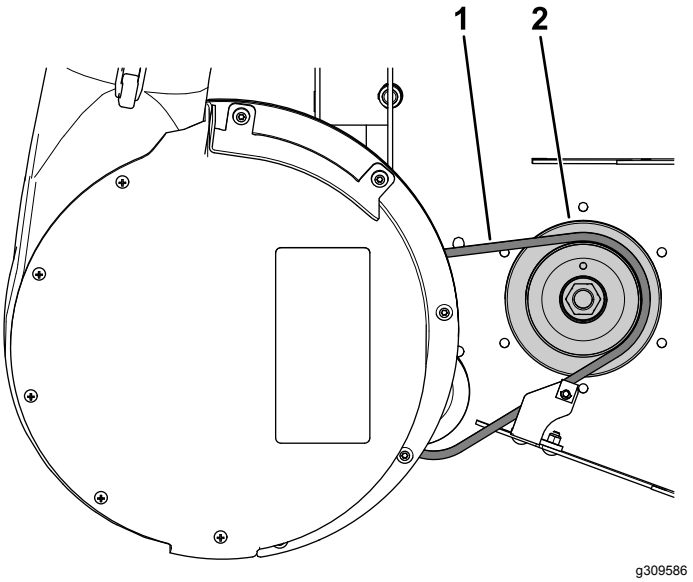
ブロアベルトとブロアベルトカバーを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ブロアベルトカバー
1	ノブ

手順

1. スプリング付きアイドラプーリをゆるめ、ベルトを駆動プーリに取り付ける図 21。

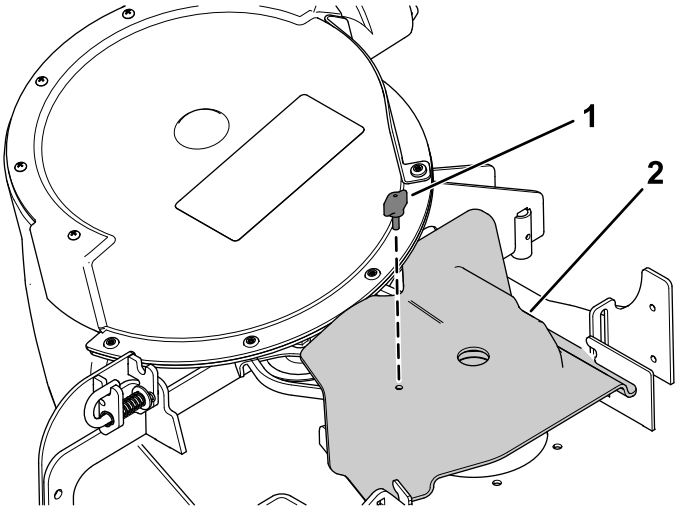


g309586

図 21

1. ブロアベルト
2. 駆動プーリ

2. ブロアベルトにベルトカバーを取り付け、ノブで固定する図 22。



g309587

図 22

1. ノブ
2. ベルトカバー

メモ

メモ

カリフォルニア州第65号決議による警告

この警告は何?

以下のような警告ラベルが張られた製品を見かけることがあるでしょう

WARNING: Cancer and Reproductive Harm—www.p65Warnings.ca.gov.

Prop 65 って何?

Prop 65 は、カリフォルニア州で操業している企業、製品を販売している企業、カリフォルニア州で販売または同州に持ち込まれる可能性のある製品のメーカーを対象とした法律です。この法律では、ガン、先天性などの出生時異常の原因となることが知られている化学物質の一覧をカリフォルニア州知事が作成維持しこれを公表しなければならないと定められています。危険物リストは、日常の生活の中で使用するものから発見された数百種類の化学物質を網羅しており、毎年改訂されます。Prop 65 の目的は、こうした物質に触れる可能性があることを市民にきちんと知らせることです。

Prop 65 は、こうした物質を含む製品の販売を禁じているのではなく、そうした製品、製品の包装、製品に付属する文書などに警告を明記することを求めています。また、こうした警告があるからといって、その製品が何等かの安全基準に違反しているということではありません。実際、カリフォルニア州政府は、Prop 65 警告はその製品が安全か安全でないかを示すものではないと説明しています。こうした物質の多くは、様々な生活用品に何年も前から使用されてきておりますが、それらの物質が今までに何らかの健康問題を起こしたという記録はありません。さらに詳しい情報はこちらへ https://oag.ca.gov/prop65/faqs-view-all.

Prop 65 の警告は、以下のうちのどちらかを意味していますある企業が自社製品への化学物質の使用量について評価したところ、目立った危険は何一つないとされる基準を超えていることがわかった、または (2) 製品に使用している化学物質は法律で規制されているものだったので、特に評価を行うことはせず、法に従って警告文を添付することにした。

この法律は全世界に適用されるのですか

Prop 65 警告はカリフォルニア州でのみ要求される法律です。Prop 65 警告はカリフォルニア州のいたるところで目にすることができます。レストラン、八百屋、ホテル、学校、病院など、そして非常に多くの製品にも、この警告が印刷されています。さらには、オンラインやメールオーダーのカタログなどにも掲載されています。

カリフォルニア州の警告と連邦政府の上限との関係は

Prop 65 の内容は連邦政府の規制や国際規制よりも厳しいものが大変多いです。Prop 65 の規制基準値は連邦政府基準に比べてはるかに厳しく、連邦政府基準では表示義務がないが、Prop 65 では表示義務があるものが数多く存在します。たとえば、Prop 65 の基準では、一日当たりの鉛の排出量が 0.5 マイクログラムとなっており、これは連邦政府の基準や国際基準よりもはるかに厳しい数値です。

似たような製品なのに警告が付いていないものがあるのはなぜ

- カリフォルニア州内で販売される場合には Prop 65 ラベルが必要でも、他の場所で販売される場合には不要だからです。
- Prop 65 関連で裁判となった企業が、和解条件として Prop 65 警告の表示に同意したが、そうした問題に巻き込まれていない企業の製品には何も表示されていないといったこともあるでしょう。
- Prop 65 の表示は必ずしも一律に行われているわけではないのです。
- 自社内で検討した結果、Prop 65 基準に抵触しないと判断して、警告の表示を行わないことを選択する企業もあります。警告が書かれていないからと言って、その製品に対象化学物質が含まれていないということは言えません。

なぜ Toro 製品にはこの警告が表示されているのですか

Toro では、十分な情報に基づいてお客様ご自身が判断できるようにすることがベストであるという考えから、できる限り多くの情報をお客様に提供することとしております。リスト記載物質のいくつかが自社製品に該当する場合、Toro では、それらの物質のほとんどの量はごくわずかであって実際の表示義務はないことを認識した上で、排出量などを厳密に評価することなく、警告を表示するという判断をすることがあります。Toro では、自社の製品に含まれる化学物質の量が「重大なリスクはない」レベルであると認識した上で、あえてProp 65 警告の表示を行うという選択をしております。これはまた、もし Toro がこうした警告を表示しなかった場合、カリフォルニア州政府や、Prop 65 の施行推進を目指す民間団体などから訴訟を提起される可能性もあるということも視野に入れての判断です。



Count on it.